



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 福留ハム株式会社

コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 修治

問合せ先責任者 (役職名) 経理支援部長

(氏名) 明石 嘉典

TEL 082-278-6161

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,575	△1.3	277	△15.7	275	△11.5	169	—
23年3月期第2四半期	14,767	△2.9	329	△26.1	311	△30.0	△44	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 243百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △81百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	10.12	—
23年3月期第2四半期	△2.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,263	4,665	27.0
23年3月期	17,385	4,472	25.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,664百万円 23年3月期 4,471百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,700	0.1	620	△4.8	600	△2.4	250	124.8	14.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	17,000,000 株	23年3月期	17,000,000 株
24年3月期2Q	296,796 株	23年3月期	296,501 株
24年3月期2Q	16,703,288 株	23年3月期2Q	16,846,331 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的で判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から徐々に持直す動きが見られるものの、世界的な景気の停滞、急激な円高もあり、依然として先行き不透明な環境が続いております。

当業界におきましては、食肉による食中毒事故や放射能汚染問題に端を発した国内牛の風評被害が継続しております。さらに、消費者の節約志向や市場競争激化による加工食品価格の下落が続く等、依然として厳しい環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、コンプライアンスを重視した社員教育の実施及び経営理念の浸透を図ってまいりました。さらに、当社グループ全社員のスキルアップを目的とするイノベーションに取り組むとともに、引き続き生産革新に基づく「ローコスト・オペレーション」のさらなる浸透を図り、コスト削減に努めてまいりました。販売に関しましては、「ソースが決めてのおいしいハンバーグ」の販売強化を図るとともに、当社のブランド商品であります「ロマンティック街道シリーズ」のキャンペーンとして平成23年6月より当社ホームページでクローズド懸賞を実施するなど、商品のアピールに努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、145億75百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。利益につきましては、営業利益は2億77百万円（前年同四半期比15.7%減）、経常利益は2億75百万円（前年同四半期比11.5%減）、四半期純利益は1億69百万円（前年同四半期は44百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## 加工食品事業

加工食品事業につきましては、消費者の節約志向や市場競争の激化により加工食品価格の下落等によりハム・ソーセージは前年を下回りましたが、新商品の「ソースが決めてのおいしいハンバーグ」は好調に推移しました。

その結果、売上高は69億64百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。

## 食肉事業

食肉事業につきましては、国内牛の販売低下、国内豚の高騰とともに、消費者の節約志向等の影響もあり国内食肉は前年を下回りました。輸入食肉につきましては販売強化を図ったこともあり前年を上回りました。

その結果、売上高は76億10百万円（前年同四半期比2.6%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債、純資産等の状況

## (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億21百万円減少の172億63百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億93百万円減少の76億23百万円となりました。主な要因は、現金及び預金1億31百万円及び受取手形及び売掛金1億26百万円の減少と商品及び製品35百万円の増加等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ72百万円増加の96億39百万円となりました。主な要因は、投資有価証券98百万円の増加等によるものであります。

## (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億14百万円の減少の125億98百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億67百万円減少の90億30百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金75百万円の増加及び短期借入金2億65百万円の減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億47百万円減少の35億67百万円となりました。主な要因は、長期借入金2億64百万円の減少とリース債務61百万円及び退職給付引当金51百万円の増加等によるものであります。

## (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億92百万円増加の46億65百万円となりました。主な要因は、四半期純利益による利益剰余金1億18百万円の増加等によるものであります。

## ②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少の31億83百万円（前連結会計年度比4.0%減）となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5億52百万円（前第2四半期連結累計期間は3億73百万円の資金獲得）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益3億18百万円、減価償却費2億22百万円及び売上債権の減少1億26百万円と法人税等の支払額1億18百万円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、63百万円（前第2四半期連結累計期間は25百万円の資金使用）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出68百万円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、6億21百万円（前第2四半期連結累計期間は3億65百万円の資金使用）となりました。主な要因は、短期借入金の純減額2億20百万円、長期借入金の返済による支出3億10百万円、配当金の支払額50百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間に引き続き厳しい経営環境で推移するものと思われませんが、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想の変更はしておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,485,814	3,353,834
受取手形及び売掛金	2,948,263	2,821,439
商品及び製品	884,119	920,090
仕掛品	49,136	55,873
原材料及び貯蔵品	315,979	322,271
繰延税金資産	106,179	110,466
その他	34,659	46,295
貸倒引当金	△6,524	△6,407
流動資産合計	7,817,628	7,623,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,613,691	2,549,858
機械装置及び運搬具(純額)	432,148	396,199
土地	3,350,829	3,350,427
リース資産(純額)	293,904	376,750
その他	38,173	36,582
有形固定資産合計	6,728,747	6,709,818
無形固定資産		
電話加入権	21,201	21,201
その他	2,526	2,123
無形固定資産合計	23,727	23,324
投資その他の資産		
投資有価証券	1,487,723	1,585,987
出資金	85,067	85,067
敷金及び保証金	132,551	131,561
保険積立金	20,428	20,767
繰延税金資産	1,009,809	1,010,280
その他	264,922	258,466
貸倒引当金	△185,476	△185,647
投資その他の資産合計	2,815,025	2,906,483
固定資産合計	9,567,500	9,639,626
資産合計	17,385,129	17,263,491

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,312,981	2,388,816
短期借入金	5,857,350	5,591,400
未払金	451,872	421,883
未払費用	86,738	87,357
未払法人税等	128,931	184,400
賞与引当金	216,843	218,609
リース債務	72,962	95,105
その他	70,792	43,395
流動負債合計	9,198,472	9,030,967
固定負債		
長期借入金	1,466,500	1,201,700
退職給付引当金	1,766,515	1,818,008
役員退職慰労引当金	215,926	220,631
リース債務	225,390	286,793
その他	40,060	40,155
固定負債合計	3,714,393	3,567,289
負債合計	12,912,865	12,598,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691,370	2,691,370
資本剰余金	1,503,937	1,503,937
利益剰余金	298,158	417,094
自己株式	△73,862	△73,932
株主資本合計	4,419,603	4,538,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,675	125,778
その他の包括利益累計額合計	51,675	125,778
少数株主持分	984	986
純資産合計	4,472,263	4,665,234
負債純資産合計	17,385,129	17,263,491



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	14,767,147	14,575,805
売上原価	11,908,737	11,764,097
売上総利益	2,858,409	2,811,707
販売費及び一般管理費	2,529,002	2,534,040
営業利益	329,407	277,666
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,845	13,681
不動産賃貸料	19,270	29,820
その他	15,136	19,703
営業外収益合計	48,252	63,204
営業外費用		
支払利息	65,373	59,264
その他	974	6,059
営業外費用合計	66,348	65,324
経常利益	311,312	275,547
特別利益		
固定資産売却益	—	4,822
収用補償金	—	38,570
特別利益合計	—	43,392
特別損失		
投資有価証券評価損	173,876	—
固定資産除却損	6,770	61
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,656	—
特別損失合計	196,303	61
税金等調整前四半期純利益	115,008	318,879
法人税、住民税及び事業税	168,299	173,086
法人税等調整額	△8,782	△23,256
法人税等合計	159,516	149,830
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△44,508	169,048
少数株主利益	2	2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44,510	169,046

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△44,508	169,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,687	74,103
その他の包括利益合計	△36,687	74,103
四半期包括利益	△81,195	243,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,198	243,149
少数株主に係る四半期包括利益	2	2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	115,008	318,879
減価償却費	219,421	222,823
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,175	4,705
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,301	53
受取利息及び受取配当金	△13,845	△13,681
支払利息	65,373	59,264
退職給付引当金の増減額(△は減少)	49,359	51,493
固定資産除却損	6,770	61
収用補償金	—	△38,570
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△4,822
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,656	—
投資有価証券評価損益(△は益)	173,876	—
売上債権の増減額(△は増加)	△35,943	126,823
たな卸資産の増減額(△は増加)	△164,947	△48,999
仕入債務の増減額(△は減少)	313,536	77,086
その他	△50,880	△78,222
小計	694,261	676,892
利息及び配当金の受取額	14,138	14,111
利息の支払額	△71,053	△58,323
収用補償金の受取額	—	38,570
法人税等の支払額	△264,126	△118,353
営業活動によるキャッシュ・フロー	373,218	552,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△33,037	△68,194
有形固定資産の売却による収入	67	5,224
投資有価証券の取得による支出	△6,032	△5,662
その他	13,279	5,496
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,723	△63,135
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△420,000	△220,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△268,000	△310,750
配当金の支払額	△84,762	△50,110
リース債務の返済による支出	△29,762	△40,810
自己株式の取得による支出	△63,250	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	△365,775	△621,740
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△18,280	△131,979
現金及び現金同等物の期首残高	3,262,209	3,315,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,243,929	3,183,834

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,954,363	7,812,783	14,767,147
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,954,363	7,812,783	14,767,147
セグメント利益	350,155	205,298	555,453

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	555,453
全社費用(注)	△226,045
四半期連結損益計算書の営業利益	329,407

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,964,965	7,610,840	14,575,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,964,965	7,610,840	14,575,805
セグメント利益	406,568	106,576	513,145

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	513,145
全社費用(注)	△235,479
四半期連結損益計算書の営業利益	277,666

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。